



平成28年5月9日

各位

上場会社名 株式会社 タカギセイコー
 代表者 代表取締役社長 八十島 清吉
 (コード番号 4242)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 林 延幸
 (TEL 0766-24-5522)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成28年3月期通期連結会計期間において、平成28年3月4日に公表しました「当社持分法適用関連会社の民事再生手続開始の申立て及び債権の回収不能のおそれの発生に関するお知らせ」に関して、下記の通り特別損失を計上することといたしましたのでお知らせいたします。

また、上記理由及び最近の業績動向を踏まえ、平成27年10月30日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	45,890	470	160	△30	△2.23
今回修正予想(B)	46,270	840	520	△390	△28.97
増減額(B-A)	380	370	360	△360	
増減率(%)	0.8	78.7	225.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	50,656	120	△57	△4,091	△303.89

修正の理由

1. 特別損失の計上

当社持分法適用関連会社である御坊山観光開発株式会社に対する貸付金及び同社の金融機関からの借入に対する債務保証並びに当社が保有する会員権について、貸倒引当金繰入額632百万円を特別損失として計上いたします。

また、当社が保有する同社株式につきましても、個別業績に投資有価証券評価損115百万円を特別損失として計上いたします。尚、投資有価証券評価損につきましては、過年度において減損処理しており、連結業績に与える影響はございません。

2. 業績予想の修正の理由

平成28年3月期通期連結会計期間の売上高は、当初の想定為替レートに対して円高で推移したことによる邦貨換算の減収影響があるものの、当社が現在進めています構造改革計画の対応方針にある「即効性のある売上高の確保」による活動成果もあり、前回発表の45,890百万円を0.8%上回る46,270百万円の見通しとなりました。

損益面では、上記の増収に加えインドネシアにあるPT.タカギ・サリマルチウタマの総原価低減活動効果等により、営業利益は前回発表の470百万円を78.7%上回る840百万円、経常利益は前回発表の160百万円を225.0%上回る520百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は上記の特別損失計上等により、前回発表の△30百万円を360百万円下回る△390百万円の見通しとなりました。

当社は今後も、安定して継続的に事業展開できる体制の構築に向け、平成26年12月12日に開示しました構造改革に取り組んでまいります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上